

平成22年度

事 業 報 告 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

目次

1 学校法人の概要

- I / 建学の精神 1
- II / 学校法人の沿革
- III / 学校法人が設置する学校、附属施設等（平成22年5月1日現在）
- IV / 所在地一覧
- V / 役員等一覧（平成23年5月25日現在）
- VI / 教職員数（平成22年5月1日現在）
- VII / 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況（平成22年5月1日現在）
- VIII / 平成23年度入試の状況
- IX / 平成22年度卒業等の状況
- X / 就職・進学状況

2 事業の概要

. 6

3 財務の概要

- I / 平成22年度収支総括表 8
- II / 平成22年度消費収支総括表
- III / 貸借対照表
- IV / 財産目録
- V / 経年比較（平成18年度～平成22年度）
- VI / 主な財務比率（平成18年度～平成22年度）
- VII / 監査報告書

はじめに

我が国最大の震災が発生し、各地が大きな被害を受けました。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの方々々に心よりお見舞い申し上げます。

新年度を目前に起きた東日本大震災は、世界を一瞬にして変えてしまいました。多くの人命が失われ、膨大な資本ストックが破壊されたのみならず、深刻な福島原発事故や電力不足などにより、長期間に亘って経済活動が抑制されることが懸念されます。

大学経営にとりましても、18歳人口の減少という構造的な問題に加えて、学生の就職環境の急激な悪化や留学生の帰国など様々な影響が心配されるところです。

このような厳しい環境下ではありますが、本学は新たな発展の基盤造りのため、「おぼせキャンパスリニューアル事業」に着手致しました。本学は九州から活力を発信するとともに、建学の理念に立ち返り、実践的な技術者を養成して、日本の復興に貢献する決意です。

1 学校法人の概要

I. 建学の精神

1. 建学の理念

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

2. 教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

3. モットー

人を育て技術を拓く

4. 目的（行動する目標）

- (1) 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成
- (2) 未知の分野に立ち向かうことの出来る気力と自信を持った技術者の育成
- (3) 世界に向かって「夢」を発信する西日本工業大学の建設

5. 教育方針

- (1) 徳育を最重要課題とし、知育、体育がこれを助ける教育の実施
- (2) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家の育成
- (3) 学生の長所を伸ばすきめ細かな教育の実現

II. 学校法人の沿革

昭和27年	学校法人九州工業学園設立
昭和42年	西日本工業大学開学 設置学部学科 工学部 機械工学科、電気工学科 定員各80名 (場所：福岡県京都郡苅田町大字新津1633番地) 初代学長 嘉村 平八 就任 二代学長 大倉 三郎 就任
昭和43年	工学部 土木工学科、建築学科を設置 定員各40名
昭和46年	工学部 土木工学科、建築学科の定員変更 定員各80名
昭和52年	三代学長 有田 一壽 就任 四代学長 許斐 貢 就任
昭和53年	学園分離により学校法人西日本工業学園と改称 (場所：福岡県京都郡苅田町新津一丁目11-1) 初代理事長 有田 一壽 就任

昭和63年	五代学長 井上 順吉 就任
平成 4年	工学部 臨時入学定員増（平成4年度から平成11年度まで） 機械工学科130名、電気工学科140名、建築学科110名
平成 5年	六代学長 岡部 淳一 就任
平成 9年	工学部 編入学定員を設定 機械工学科4名、電気工学科5名を、土木工学科2名、建築学科2名
平成10年	七代学長 坂田 弘 就任
平成11年	二代理事長 入江 伸明 就任
平成12年	工学部の定員変更 機械工学科100名、電気工学科80名を110名、建築学科100名、及び臨時定員増の延長認可（平成15年度まで）
平成14年	八代学長 坂本 正史 就任
平成15年	工学部 学科名称の変更 機械工学科を機械システム工学科に、電気工学科を電気電子情報工学科に、土木工学科を環境都市デザイン工学科に変更
平成16年	工学部 情報デザイン学科を新設 定員75名、3年編入学5名 工学部の定員変更 機械システム工学科90名（3年編入2名）、電気電子情報工学科90名（3年編入2名）、環境都市デザイン工学科60名、建築学科75名 小倉にサテライトキャンパス開設（平成18年まで） 大学院工学研究科修士課程（生産・環境システム専攻）を開設 定員10名
平成18年	学校法人西日本工業学園の所在地変更 （場所:福岡県北九州市小倉北区室町一丁目2-11） 小倉キャンパス開校 （場所：福岡県北九州市小倉北区室町一丁目2-11） デザイン学部 建築学科、情報デザイン学科を開設 定員各75名、3年編入学2名、5名 工学部 建築学科、情報デザイン学科の募集停止 工学部入学定員の変更 機械システム工学科110名、環境都市デザイン学科40名
平成19年	工学部学科名称の変更 環境都市デザイン工学科を環境建設学科へ変更
平成20年	三代理事長 鹿田 磨樹 就任
平成21年	九代学長 菊池 重昭 就任 大学院・地域連携センターを開設 （場所：福岡県北九州市小倉北区大門1丁目5-1） 小倉学生会館を開設 （場所：福岡県北九州市小倉北区室町3丁目3-11） 工学部学科を改組 総合システム工学科（定員165名、3年編入学4名）、デジタルエンジニアリング学科（定員75名、3年編入学2名）を設置 工学部 機械システム工学科、電気電子情報工学科、環境建設学科の募集停止

Ⅲ. 学校法人が設置する学校、附属施設等（平成22年5月1日現在）

学 校	学部・研究科	学科名	摘 要
西日本工業大学	工学部	総合システム工学科	
		デジタルエンジニアリング学科	
		機械システム工学科	平成21年4月 募集停止
		電気電子情報工学科	平成21年4月 募集停止
		建築学科	平成18年4月 募集停止
		環境建設学科	平成21年4月 募集停止
	デザイン学部	建築学科	
		情報デザイン学科	
	大学院 工学研究科	修士課程（生産・環境システム専攻）	

附属施設等

情報科学センター	
総合実験実習センター	
大学院・地域連携センター	
小倉学生会館	学生寮、食堂他

IV. 所在地一覧（平成22年5月1日現在）

施設名等	所在地	電話番号
学校法人 西日本工業学園	〒803-8787 北九州市小倉北区室町1丁目2-11	093-563-2228
西日本工業大学おばせキャンパス	〒800-0394 福岡県京都郡苅田町新津1丁目11-1	0930-23-1491
西日本工業大学小倉キャンパス	〒803-8787 北九州市小倉北区室町1丁目2-11	093-563-2221
大学院・地域連携センター	〒803-0811 北九州市小倉北区大門1丁目5-1	093-563-3221
小倉学生会館	〒803-0812 北九州市小倉北区室町3丁目3-11	093-581-6181

V. 役員等一覧（平成23年5月25日現在）

【役員】理事：定数 5～7名 現員 7名、監事：定数 2名 現員 2名

役職	氏名	常・非常勤の別	選任区分	摘要
理事長	鹿田磨樹	常勤	2号(評議員)	平成14年10月 理事就任
				平成20年 3月 理事長就任
副理事長	菊池重昭	常勤	1号(学長)	平成21年 4月 理事就任 (西日本工業大学学長)
理事	桑原豪士	非常勤	2号(評議員)	平成17年12月 理事就任
理事	西村韶道	非常勤	3号(学識経験者)	平成19年 9月 理事就任 (TOTO(株)顧問)
理事	小嶋一碩	非常勤	3号(学識経験者)	平成20年 3月 理事就任 ((株)千草代表取締役)
理事	中野昌治	非常勤	3号(学識経験者)	平成21年 5月 理事就任 (弁護士)
理事	原田康	非常勤	3号(学識経験者)	平成22年 4月 理事就任 ((株)ゼンリン取締役)
監事	永山猛彦	常勤	—	平成22年 4月 監事就任
監事	松田融	非常勤	—	平成23年 4月 監事就任 (公認会計士)

平成21年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

役職	氏名	常・非常勤の別	選任区分	摘要
監事	林宗義	非常勤	—	平成23年3月辞任

【評議員】

(単位：人)

選任区分	定数	現員
1号 法人職員	3～4	4
2号 卒業生	1	1
3号 学識経験者	7～11	11
合計	11～16	16

VI. 教職員数一覧（平成22年5月1日現在）

(単位：人)

教員	125	(うち本務 62、うち兼務 63)
職員	51	(うち本務 48、うち兼務 3)

VII. 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況（平成22年5月1日現在）

【学部】

(単位：人)

学部	区分	学科名	1年	2年	3年	4年	合計
工学部	定員	総合システム工学科	165	165	-	-	330
		デジタルエンジニアリング学科	75	75	-	-	150
		機械システム工学科	-	-	112	112	224
		電気電子情報工学科	-	-	92	92	184
		環境建設学科	-	-	42	42	84
		建築学科	-	-	-	-	-
		計	240	240	246	246	972
	現員	総合システム工学科	204	144	-	-	348
		デジタルエンジニアリング学科	50	53	-	-	103
		機械システム工学科	-	-	77	100	177
		電気電子情報工学科	-	-	68	88	156
		環境建設学科	-	-	29	25	54
建築学科		-	-	-	4	4	
	計	254	197	174	217	842	
デザイン学部	定員	建築学科	75	75	77	77	304
		情報デザイン学科	75	75	80	80	310
		計	150	150	157	157	614
	現員	建築学科	66	66	81	84	297
		情報デザイン学科	84	76	71	88	319
		計	150	142	152	172	616
合計		定員	390	390	403	403	1,586
		現員	404	339	326	389	1,458

【大学院 工学研究科（修士）】

専攻	区分	1年	2年	合計
生産・環境システム専攻	定員	10	10	20
	現員	15	16	31

VIII. 平成23年度入試の状況

【学部】

(単位：人)

学部・学科名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合システム工学科	165	283	281	271	191
デジタルエンジニアリング学科	75	57	54	52	45
工学部 計	240	340	335	323	236
建築学科	75	100	95	94	70
情報デザイン学科	75	92	92	91	61
デザイン学部 計	150	192	187	185	131
総合計	390	532	522	508	367

【大学院 工学研究科（修士）】

(単位：人)

専攻名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生産・環境システム専攻	10	27	27	26	24

IX. 平成 22 年度卒業等の状況

【学部卒業者数】

(単位：人)

学部・学科	平成22年度	総数
工学部	178	14,350
機械システム工学科	77	-
電気電子情報工学科	77	-
環境建設学科	21	-
環境都市デザイン学科	3	-
デザイン学部	142	283
建築学科	69	-
情報デザイン学科	73	-
計	320	14,633

【大学院修了者数】

(単位：人)

工学研究科	平成22年度	総数
生産・環境システム専攻	14	79

X. 就職・進学状況

1) 就職内定率について (平成23年3月31日現在)

就職希望者比	93.1% (前年度91.2%)
卒業生比 (卒業生数－進学希望者数)	79.4% (前年度78.4%)

2) 大学院への進学状況について

本学25名※、東北大学1名、名古屋工業大学1名、山口大学2名、早稲田大学1名
計30名 (前年度39名) ※ (大学院研究生2名を含みます。)

3) 大企業への内定者について (大企業の定義：資本金3億円以上及び従業員数300名以上)

- 機械システム工学科：神戸製鋼、住友金属小倉、ダイハツ九州、JR九州等に 計15名
- 電気電子情報工学科：関電工、きんでん、中電工、JR西日本、宇部興産等に 計21名
- 環境建設学科：福田組、フジタ道路、大盛工業、JFEメカニカル等に 計5名
- 建築学科：大和ハウス工業、エイブル、福田組、三晃空調、ダイサン、ノバック等に 計12名
- 情報デザイン学科：日本ペイント、サンマーク、コスモス薬品に 計3名

2 事業の概要

平成 22 年度は、学園創立 60 周年・開学 45 周年事業の一環として、また新たな発展の基盤造りのため、おばせキャンパスリニューアル事業に着手致しました。京築地区唯一の高等教育機関として、環境に配慮した自然共生型の教育研究環境を整えます。

一方、小倉キャンパスにおいても、大学院・地域連携センターの P C 教室整備や小倉学生会館の学生寮設備の更新等教育研究環境の整備を実施しました。

大学においては、日産自動車（株）やシャボン玉石けん（株）との共同研究や、北九州市とのデザインシンポジウムの共催により地域中小企業のデザイン振興に資するなど、研究センターを中心とした産学官連携活動を推進しました。また、地元企業、高等学校、行政を構成員とした地域人材育成機構を立ち上げ、地域と連携した人材の育成にも取り組みました。

以下に、平成 22 年度における主な事業内容について述べます。

1) おばせキャンパスリニューアル事業

平成 22 年 12 月、本学はおばせキャンパスリニューアル構想を公表し、当該事業に着手しました。耐震補強やバリアフリー未整備の既存校舎 4 棟を解体し、新本館（地上 4 階建、延床面積約 6,000 m²）を建設、総事業費は 15 億円を予定しています。新本館は、地中熱や太陽光を利用する環境負荷の小さいエコキャンパスとして、学長室のほか、カフェテリア、大講義室や図書館などを備え、地域に開放される計画です。

平成 22 年度は基本設計まで終了、工事着工は平成 23 年 11 月の予定で、平成 25 年 3 月までの完了を目指します。

2) 公開連続セミナー「デザイン・建築の現在」の開催

平成 22 年 7 月から平成 23 年 3 月まで 5 回に亘って、公開連続セミナー「デザイン・建築の現在」を開催しました。毎回、九州内外から著名なクリエイターを招き、地元のみならず長崎や佐賀の大学からも学生が詰めかけ、交流を深めました。

3) 公開講座「キャリア塾」の開催

平成 22 年 9 月から平成 23 年 2 月まで 5 回に亘って、小倉キャンパス本館 1 階の西部ガスショールーム「hinata」で、本学講師が塾長を務める「キャリア塾（公開講座）」を開催しました。各回、企業の方や産業カウンセラーの方など幅広い職種から講師を招いて開催され、一般の方から他大学の学生など 50 名程の方々が参加しました。

4) 北九州デザインシンポジウムの開催

地域中小企業のデザイン振興を推進するため、北九州市と本学が共催で、デザインシンポジウムが開催されました。第 1 回目は、平成 22 年 10 月 14 日（木）本学小倉キャンパスで、「コア技術を活かすデザイン経営」をテーマ開催、また第 2 回目は、平成 23 年 3 月 30 日（水）に同キャンパスで「デザインと売れるしくみづくり ～マーケティング発想で新領域を開拓する～」をテーマに開催され、各社のデザインに取り組む姿に、会場の参加者からも共感の声が寄せられました。

5) 環境 ESD フォーラム 2010 ～京築地域の自然・資源を活用した連携教育～の開催

平成 22 年 11 月、本学おばせキャンパスで環境 ESD フォーラムを開催しました。「工業技術者は環境教育の担い手になれるか」をテーマにした基調講演が行われた後、地元京築地区の小学校（3 校）・高等学校（2 校）、環境 ESD 受講生による地域環境活動の事例報告と、本学工学部の研究発表が行われました。

6) 「東アジア・環境人材育成コンソーシアム」の設立

平成 22 年 8 月 24 日、本学は東アジアの環境問題に取り組む人材を育成するために、河海大文天学院（中国）と新羅大学校（韓国）の 2 大学と「東アジア・環境人材育成コンソーシアム」の設立協定を締結いたしました。各大学は、共通の東アジア環境人材育成プログラムに従って事業を実施し、環境面から「持続可能な社会・地域を創造する」環境人材を育成します。

7) 文部科学省「平成 22 年度 大学生の就業力育成支援事業」に採択

平成 22 年 12 月、本学工学部の取組が文部科学省の「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」の一環である「平成 22 年度 大学生の就業力育成支援事業」に選定されました。

本学の申請テーマは、「企業ニーズに応じた実践技術教育体系の構築」で、現在、自動車メーカーをはじめとする製造業企業において、その根幹をなす技術である、デジタルエンジニアリングをベースに、地元企業、自治体、高等学校等と連携して、「デジタルエンジニアリング技術力」「人間力」「キャリア形成力」を兼ね備えた実践的専門職業人の育成を目指します。

8) 文部科学省「学生支援推進プログラム」について

平成 21 年度に採択された、文部科学省「学生支援推進プログラム」を継続事業として、平成 22 年度も取り組み、就職指導アドバイザーや学修ポートフォリオの活用、企業・OB との連携を通して、就職状況が厳しい中、昨年度より就職率を向上することができました。

9) 「地域人材育成機構」の設立

平成 23 年 3 月 2 日(水) 本学おばせキャンパスで、地域人材育成機構の設立式が行われました。「地域人材育成機構」は、学生が社会で生き生きと活躍し、産業に貢献できる力 = " 就業力 " を高めることを目指して設立、本学の教員のほか、トヨタ自動車九州（株）苅田工場、日産自動車（株）九州工場など企業 4 社、高等学校 4 校、福岡県や苅田町など行政担当者等、計 25 名の委員で構成されています。これまで取り組んできた本学の教育をさらに実践的なものにするために、産学官が連携し、地域社会や企業のニーズとマッチした本学の新しい教育への挑戦を始めました。

10) デザイン学部 卒業制作優秀作品展

平成 23 年 2 月 26 日（土）から 9 日間、リバーウォーク北九州内の北九州市立美術館分館で本学デザイン学部の第 1 回卒業研究優秀作品展を開催しました。本学のデザイン学部は開設より 5 年目を迎え、学生の 4 年間の集大成を、地域の方々にも披露することを趣旨に開催し、学内外から高い評価を受けました。作品展終了後は、「デザイン大賞」の授賞式が開催され、表彰状と副賞として株式会社槌絵と本学が共同で制作したオリジナルトロフィーが授与されました。

11) クラブ・サークル活動

平成 22 年度も次のとおり全国、九州地区の競技会で優秀な成績を残しました。

○ 硬式野球部

第 83 回九州地区大学野球選手権大会優勝

第 59 回全日本大学選手権大会出場

○ 弓道部

西日本学生弓道選手権大会（女子団体）優勝

福岡県大学選手権弓道大会（団体戦）2 連覇 男女とも優勝

全国大学弓道選抜大会（女子団体）ベスト 8

○ バレーボール部

九州大学春季 1 部リーグ 2 連覇

3 財務の概要

当期の財務の状況について、その概況を報告致します。

1. 平成22年度 収支総括表

1. 資金収支総括表

(単位 千円)

収入の部				
科目	目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	収入	1,750,000	1,750,181	△ 181
手数料	収入	20,400	22,807	△ 2,407
寄付金	収入	19,000	15,900	△ 3,100
補助金	収入	322,000	339,307	△ 17,307
国庫補助金	収入	322,000	338,079	△ 16,079
地方公共団体補助金	収入	0	1,228	△ 1,228
資産運用	収入	63,000	79,013	△ 16,013
事業	収入	38,000	37,296	704
雑	収入	84,100	86,540	△ 2,440
小計		2,296,500	2,331,043	△ 34,543
前受金	収入	217,918	202,195	15,723
その他の収入		190,109	162,825	27,284
資金収入調整勘定		△ 289,627	△ 294,683	5,055
前年度繰越支払資金		2,434,343	2,434,343	
収入の部合計		4,849,243	4,835,724	13,519
支出の部				
科目	目	予算	決算	差異
人件費	支出	1,046,060	1,029,645	16,415
教育研究経費	支出	857,486	789,461	68,024
管理経費	支出	189,369	178,315	11,055
施設関係	支出	13,550	13,545	5
設備関係	支出	88,553	33,523	55,030
小計		2,195,018	2,044,489	150,529
資産運用	支出	628,152	585,282	42,870
その他の支出		156,625	145,376	11,250
〔予備費〕		8,546		8,546
資金支出調整勘定		△ 81,636	△ 42,163	△ 39,473
次年度繰越支払資金		1,942,538	2,102,740	△ 160,202
支出の部合計		4,849,243	4,835,724	13,519

当初見込みより、補助金及び資産運用収入が増加しました。

予算執行段階より、節減に努め、当初見込みより支出が少なくすみました。

有価証券評価減額により、特定資産に資金を繰り入れました。

支出の抑制等により、当初見込みより翌年度繰越支払資金が増加しました。

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入
2. 資産運用の特定資産(預金)については収支相殺

2. 消費収支総括表

(単位 千円)

消費収入の部				
科目	目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金		1,750,000	1,750,181	△ 181
手数料		20,400	22,807	△ 2,407
寄付金		19,000	19,523	△ 523
補助金		322,000	339,307	△ 17,307
国庫補助金		322,000	338,079	△ 16,079
地方公共団体補助金		0	1,228	△ 1,228
資産運用	収入	63,000	79,013	△ 16,013
資産売却	差額	0	0	0
事業	収入	38,000	37,296	704
雑	収入	84,100	86,540	△ 2,440
帰属収入合計		2,296,500	2,334,666	△ 38,166
消費収入の部合計		2,296,500	2,334,666	△ 38,166
消費支出の部				
科目	目	予算	決算	差異
人件費		1,203,988	1,191,588	12,400
教育研究経費		1,257,486	1,178,268	79,218
(うち、減価償却額)		(400,000)	(388,806)	(11,194)
管理経費		199,369	188,213	11,157
(うち、減価償却額)		(10,000)	(9,898)	(102)
資産処分	差額	1	52,561	△ 52,560
徴収不能	額	8,469	8,469	0
徴収不能引当金	入金	10,000	2,960	7,040
〔予備費〕		2,253		2,253
消費支出の部合計		2,681,565	2,622,057	59,508
当年度消費収入超過額		0	0	
当年度消費支出超過額		385,065	287,391	
前年度繰越消費収入超過額		0	0	
前年度繰越消費支出超過額		597,610	597,610	
基本金取崩	額	6,000	23,219	
翌年度繰越消費収入超過額		0	0	
翌年度繰越消費支出超過額		976,675	861,783	

支出抑制などにより、当年度帰属収支差額は当初見込みより支出超過額の幅が減少しました。

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入

Ⅱ. 平成22年度 消費収支総括表 (前年度比)

(単位 千円)

消費収入の部			
科 目	平成22年度決算	平成21年度決算	増 減
学生生徒等納付金	1,750,181	1,721,109	29,072
手数料	22,807	24,138	△ 1,331
寄付金	19,523	26,769	△ 7,246
補助金	339,307	338,627	680
国庫補助金収入	338,079	337,535	544
地方公共団体補助金収入	1,228	1,092	136
資産運用収入	79,013	78,161	852
資産売却差額	0	12,854	△ 12,854
事業収入	37,296	39,472	△ 2,177
雑収入	86,540	69,257	17,283
帰属収入合計	2,334,666	2,310,389	24,278
消費収入の部合計	2,334,666	2,310,389	24,278
消費支出の部			
科 目	平成22年度決算	平成21年度決算	増 減
人件費	1,191,588	1,004,095	187,493
教育研究経費	1,178,268	1,133,263	45,005
(うち、減価償却額)	(388,806)	(401,890)	(△13,084)
管理経費	188,213	180,692	7,520
(うち、減価償却額)	(9,898)	(9,502)	(396)
資産処分差額	52,561	50,858	1,703
徴収不能額	8,469	2,945	5,524
徴収不能引当金繰入額	2,960	6,920	△ 3,960
[予 備 費]	0		0
消費支出の部合計	2,622,057	2,378,773	243,284
当年度消費支出超過額	287,391	68,384	
前年度繰越消費支出超過額	597,610	257,563	
基本金取崩額	23,219	96,799	
翌年度繰越消費支出超過額	861,783	325,948	

在籍学生数が増加し、収入が増加しました。

経常費補助金は増加しましたが、留学生授業料補助金カットにより、前年度並みとなりました。

H21年度は第5駐車場売却による収入です。

私学退職金財団交付金及び強風被害の保険金収入増加です。

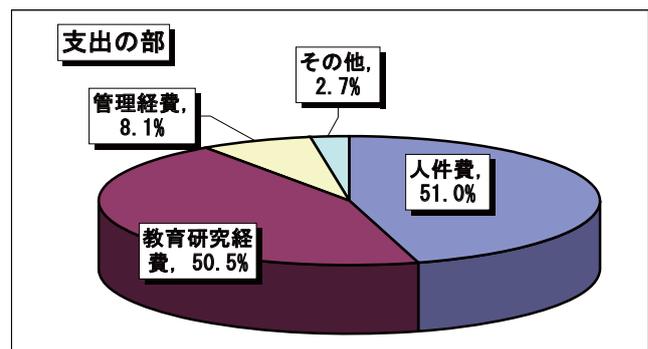
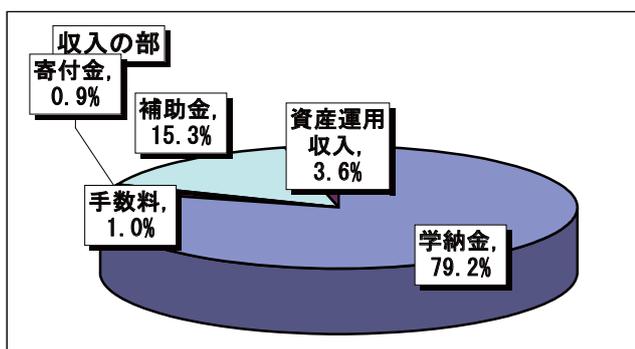
本年度だけの特殊要因である退職給与引当金計上基準見直しによる特別繰り入れによるものです。

在籍学生数増加に伴う奨学費拡充によるものです。

消費支出超過が増加しましたが、退職給与引当基準見直しによる167百万円が主な要因です。

(注) 千円未満は個々に四捨五入

平成22年度 財務比率(帰属収入を100とした場合の比率)



Ⅲ. 貸借対照表

平成23年3月31日

(単位 千円)

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	11,274,312	11,291,578	△	17,266
有形固定資産	8,259,110	8,605,095	△	345,985
土地	1,269,131	1,269,131		0
建物	5,842,365	6,114,848	△	272,483
構築物	135,452	160,181	△	24,728
教育研究用機器備品	285,039	329,303	△	44,264
図書	666,535	662,629		3,906
その他	60,587	69,002	△	8,415
その他の固定資産	3,015,202	2,686,483		328,719
長期貸付金	18,061	16,384		1,677
減価償却引当特定資産	2,100,000	2,100,000		0
退職給与引当特定資産	630,422	500,000		130,422
有価証券	202,280	1,000		201,280
その他	64,439	69,099	△	4,660
流動資産	2,394,195	2,527,245	△	133,050
現金預金	2,102,740	2,434,343	△	331,603
未収入金	77,700	77,451		249
短期貸付金	3,970	4,273	△	303
有価証券	201,020	0		201,020
その他	8,765	11,178	△	2,413
合 計	13,668,507	13,818,823	△	150,316

本年度大きな設備投資がなく、減価償却による減少です。

退職給与引当金計上基準見直しにより、それに引き当てる資産を増額しました。

金融資産の効率化の観点により、現金預金から、有価証券等に533百万円を充当しました。差し引き、期中の増加は202百万円です。

本学園は、H15年度より、借入金がゼロとなっています。

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	630,422	468,479		161,943
長期借入金	0	0		0
退職給与引当金	630,422	468,479		161,943
流動負債	331,094	355,962	△	24,868
短期借入金	0	0		0
前受金	202,195	217,918	△	15,723
その他	128,899	138,044	△	9,145
負債の部合計	961,516	824,441		137,075
第1号基本金	13,403,774	13,426,993	△	23,219
第4号基本金	165,000	165,000		0
基本金の部合計	13,568,774	13,591,993	△	23,219
翌年度繰越消費支出超過額	861,783	597,610		264,173
消費収支差額の部合計	△ 861,783	△ 597,610	△	264,173
負債・基本金・消費収支差額の合計	13,668,507	13,818,823	△	150,316

退職給与引当計上基準を見直し(80%→100%)し、大幅な増加となりました。なお、文科省の会計方針変更により平成23年度より退職給与引当計上基準を100%に統一するため、先行して実施するものです。

本年度に増加した消費収支差額です。

【参考】

正味財産	12,706,991	12,994,382	△	287,391
-------------	-------------------	-------------------	----------	----------------

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入

- 減価償却累計額の合計額 5,144,664千円(前年度4,821,898千円)
- 徴収不能引当金計上額 4,740千円(未収入金等の徴収不能に備えるため)
- 担保に供されている資産はない
- 退職給与引当金の額の算定方法は、期末要支給額837,190千円の100%を基にして、私立大学退職金財団掛金・交付額との差額を加減した金額を計上
- 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通り
リース料総額104,543千円 未経過リース料期末残高26,853千円
- 減価償却引当資産・退職給与引当特定資産及び有価証券のうち、有価証券保有金額は3,009,354千円で、年度末の時価総額は2,701,274千円であり、計上総額より時価額が308,080千円下回っている
- 本学園が債務保証を行っているものは教職員の銀行借入金4,142千円
- 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額

IV. 財 産 目 録

I. 資産総額	13,668,507 千円
内、(一) 基本財産	8,317,507 千円
(二) 運用財産	5,351,000 千円
II. 負債総額	961,516 千円
III. 正味財産	12,706,991 千円

科 目	平成22年度末	
I. 資産額		
一 基本財産		
1 土 地		
おばせキャンパス	142,374 m ²	784,081 千円
小倉キャンパス	996 m ²	485,050 千円
2 建 物		
校舎等(おばせキャンパス)	42,172 m ²	3,224,454 千円
校舎等(小倉キャンパス)	12,503 m ²	2,617,910 千円
3 構築物 (おばせキャンパス)		135,452 千円
4 教育研究用機器備品		285,039 千円
5 その他の機器備品		57,341 千円
6 図 書	149,583 冊	666,535 千円
7 その他		61,644 千円
計		8,317,507 千円
二 運用財産		
1 現金預金		2,102,740 千円
2 減価償却引当特定資産		2,100,000 千円
3 退職給与引当特定資産		630,422 千円
4 有価証券		403,300 千円
5 貸付金		22,031 千円
6 未収入金		77,700 千円
7 その他		14,807 千円
計		5,351,000 千円
合 計		13,668,507 千円
II. 負債額		
一 固定負債		
1 退職給与引当金		630,422 千円
二 流動負債		
1 前受金		202,195 千円
2 その他		128,899 千円
合 計		961,516 千円

V. 経年比較（平成18年度～平成22年度）

1. 資金収支総括表

（単位 千円）

収入の部					
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
学生生徒等納付金収入	1,760,746	1,776,264	1,759,942	1,721,109	1,750,181
手数料収入	25,172	22,819	23,090	24,138	22,807
寄付金収入	16,502	25,864	30,400	26,632	15,900
補助金収入	610,813	340,474	331,038	338,627	339,307
国庫補助金収入	369,669	338,738	330,155	337,535	338,079
地方公共団体補助金収入	241,144	1,736	882	1,092	1,228
資産運用収入	95,186	123,868	98,154	78,161	79,013
資産売却収入	325,618	0	326,457	92,690	0
事業収入	3,327	12,346	8,763	39,472	37,296
雑収入	173,665	109,371	119,678	69,257	86,540
小計	3,011,029	2,411,007	2,697,522	2,390,086	2,331,043
前受金収入	207,569	187,540	191,287	217,918	202,195
その他の収入	70,535	251,512	204,243	225,232	162,825
資金収入調整勘定	△ 463,945	△ 334,544	△ 310,023	△ 267,454	△ 294,683
前年度繰越支払資金	1,613,913	1,695,039	2,075,765	1,990,856	2,434,343
収入の部合計	4,439,100	4,210,554	4,858,795	4,556,638	4,835,724
支出の部					
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費支出	1,323,098	1,140,740	1,046,847	1,019,062	1,029,645
教育研究経費支出	720,729	707,052	711,039	731,372	789,461
管理経費支出	144,518	150,398	148,371	171,191	178,315
施設関係支出	108,639	13,860	766,444	9,461	13,545
設備関係支出	76,857	50,536	84,648	38,174	33,523
小計	2,373,841	2,062,585	2,757,348	1,969,260	2,044,489
資産運用支出	326,004	1,453	55,659	50,000	585,282
その他の支出	67,776	97,908	86,100	140,184	145,376
資金支出調整勘定	△ 23,561	△ 27,157	△ 31,168	△ 37,149	△ 42,163
次年度繰越支払資金	1,695,039	2,075,765	1,990,856	2,434,343	2,102,740
支出の部合計	4,439,100	4,210,554	4,858,795	4,556,638	4,835,724

- （注） 1. 千円未満は個々に四捨五入
2. 資産運用の特定資産（預金）については、収支相殺

2. 消費収支総括表

（単位 千円）

消費収入の部					
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
学生生徒等納付金	1,760,746	1,776,264	1,759,942	1,721,109	1,750,181
手数料	25,172	22,819	23,090	24,138	22,807
寄付金	18,317	27,700	33,413	26,769	19,523
補助金	610,813	340,474	331,038	338,627	339,307
国庫補助金	369,669	338,738	330,155	337,535	338,079
地方公共団体補助金	241,144	1,736	882	1,092	1,228
資産運用収入	95,186	123,868	98,154	78,161	79,013
資産売却差額	52,458	0	0	12,854	0
事業収入	3,327	12,346	8,763	39,472	37,296
雑収入	173,665	109,371	119,678	69,257	86,540
帰属収入合計	2,739,684	2,412,843	2,374,078	2,310,389	2,334,666
基本金組入額合計	△ 27,680	△ 32,000	△ 451,949	0	0
消費収入の部合計	2,712,004	2,380,843	1,922,129	2,310,389	2,334,666
消費支出の部					
科目	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費	1,302,023	1,132,930	1,043,796	1,004,095	1,191,588
教育研究経費	1,139,011	1,102,395	1,089,538	1,133,263	1,178,268
（うち、減価償却額）	（ 418,282）	（ 393,684）	（ 378,499）	（ 401,890）	（ 388,806）
管理経費	157,429	162,642	159,910	180,692	188,213
（うち、減価償却額）	（ 12,911）	（ 12,244）	（ 11,539）	（ 9,502）	（ 9,898）
資産処分差額	19,260	0	55,659	50,858	52,561
徴収不能金額	0	5,515	3,473	2,945	8,469
徴収不能引当金繰入金	6,710	7,200	6,600	6,920	2,960
消費支出の部合計	2,624,433	2,410,682	2,358,974	2,378,773	2,622,057
当年度消費収入超過額	87,571	0	0	0	0
当年度消費支出超過額	0	29,839	436,846	68,384	287,391
前年度繰越消費収入超過額	0	0	0	0	0
前年度繰越消費支出超過額	△ 246,910	159,340	189,179	626,025	597,610
基本金取崩額	0	0	0	96,799	23,219
翌年度繰越消費支出超過額	159,340	189,179	626,025	597,610	861,783

- （注） 1. 千円未満は個々に四捨五入

3. 貸借対照表

(単位 千円)

資産の部					
科 目	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末
固定資産	11,551,514	11,238,027	11,722,377	11,291,578	11,274,312
有形固定資産	8,920,611	8,581,284	9,047,379	8,605,095	8,259,110
土地	1,348,966	1,348,966	1,348,966	1,269,131	1,269,131
建物	6,137,515	5,873,427	6,394,229	6,114,848	5,842,365
構築物	263,576	227,212	192,550	160,181	135,452
教育研究用機器備品	438,977	389,993	380,566	329,303	285,039
図書	644,016	651,576	658,215	662,629	666,535
建設仮勘定	0	12,128	0	0	0
その他	87,561	77,983	72,854	69,002	60,587
その他の固定資産	2,630,903	2,656,743	2,674,998	2,686,483	3,015,202
長期貸付金	5,494	10,303	10,676	16,384	18,061
減価償却引当特定資産	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000
退職給与引当特定資産	500,000	500,000	500,000	500,000	630,422
有価証券	1,000	1,000	1,000	1,000	202,280
その他	24,410	45,440	63,323	69,099	64,439
流動資産	2,259,541	2,538,947	2,126,743	2,527,245	2,394,195
現金預金	1,695,039	2,075,765	1,990,856	2,434,343	2,102,740
未収入金	230,232	128,731	124,204	77,451	77,700
短期貸付金	2,343	2,398	4,277	4,273	3,970
有価証券	325,004	326,457	0	0	201,020
その他	6,923	5,596	7,406	11,178	8,765
合 計	13,811,055	13,776,973	13,849,120	13,818,823	13,668,507

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部					
科 目	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末
固定負債	494,307	486,497	483,446	468,479	630,422
長期借入金	0	0	0	0	0
退職給与引当金	494,307	486,497	483,446	468,479	630,422
流動負債	271,245	242,813	302,908	355,962	331,094
短期借入金	0	0	0	0	0
前受金	207,569	187,540	191,287	217,918	202,195
その他	63,676	55,273	111,620	138,044	128,899
負債の部合計	765,552	729,310	786,353	824,441	961,516
第1号基本金	13,071,842	13,071,842	13,523,791	13,426,993	13,403,774
第4号基本金	133,000	165,000	165,000	165,000	165,000
基本金の部合計	13,204,842	13,236,842	13,688,791	13,591,993	13,568,774
翌年度繰越消費支出超過額	159,340	189,179	626,025	597,610	861,783
消費収支差額の部合計	△ 159,340	△ 189,179	△ 626,025	△ 597,610	△ 861,783
負債・基本金・消費収支差額の合計	13,811,055	13,776,973	13,849,120	13,818,823	13,668,507

【参考】

正味財産	13,045,503	13,047,663	13,062,767	12,994,382	12,706,991
------	------------	------------	------------	------------	------------

VI. 主な財務比率（平成18年度～平成22年度）

1. 消費収支関係比率

比率名	算式	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	4.2%	0.1%	0.6%	-3.0%	-12.3%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	96.8%	101.3%	122.7%	103.0%	112.3%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	64.3%	73.6%	74.1%	74.5%	75.0%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	47.5%	47.0%	44.0%	43.5%	51.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	41.6%	45.7%	45.9%	49.1%	50.5%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.7%	6.7%	6.7%	7.8%	8.1%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	73.9%	63.8%	59.3%	58.3%	68.1%
減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{消費支出}}$	16.4%	16.8%	16.5%	17.3%	15.2%

2. 貸借対照表関係比率

比率名	算式	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	833.0%	1045.6%	702.1%	710.0%	723.1%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	5.9%	5.6%	6.0%	6.3%	7.6%
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	94.5%	94.7%	94.3%	94.0%	93.0%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	83.6%	81.6%	84.6%	81.7%	82.5%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	16.4%	18.4%	15.4%	18.3%	17.5%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	5.5%	5.3%	5.7%	6.0%	7.0%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	816.6%	1106.8%	1040.8%	1117.1%	1040.0%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	35.8%	38.9%	38.9%	41.9%	44.9%

※ 自己資金＝基本金＋消費収支差額　総資金＝総負債＋基本金＋消費収支差額

監事監査報告書

平成23年5月16日

学校法人 西日本工業学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人西日本工業学園

監事 永山 猛 彦 
監事 松田 融 

私たち監事は、私立学校法第37条第3項および学校法人西日本工業学園寄付行為第15条の規定に基づき、学校法人西日本工業学園の平成22年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）における学校法人の業務および財産の状況について監査を行ないましたので、以下の通り報告いたします。

記

1. 監査の方法の概要

私たち監事は、理事会に出席し、理事、事務局長等から業務の執行状況を聴取するとともに関係書類を閲覧し、業務および財産の状況を監査いたしました。また、福北監査法人から監査状況の報告を受け、計算書類等について検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に対する決定および執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類等（財産目録、貸借対照表および収支計算書）は、学校法人の財産の状況および経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

資 金 収 支 計 算 書

平成22年 4月 1日から

平成23年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,750,000,000	1,750,180,740	△ 180,740
手数料収入	20,400,000	22,806,550	△ 2,406,550
寄付金収入	19,000,000	15,900,000	3,100,000
補助金収入	322,000,000	339,307,298	△ 17,307,298
国庫補助金収入	322,000,000	338,078,898	△ 16,078,898
地方公共団体補助金収入	0	1,228,400	△ 1,228,400
資産運用収入	63,000,000	79,013,124	△ 16,013,124
資産売却収入	0	100,000,000	△ 100,000,000
事業収入	38,000,000	37,295,553	704,447
雑収入	84,100,000	86,539,993	△ 2,439,993
前受金収入	217,917,710	202,195,210	15,722,500
その他の収入	190,109,218	562,715,727	△ 372,606,509
資金収入調整勘定	△ 289,627,331	△ 294,682,668	5,055,337
前年度繰越支払資金	2,434,343,236	2,434,343,236	
収入の部合計	4,849,242,833	5,335,614,763	△ 486,371,930
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,046,060,153	1,029,644,863	16,415,290
教育研究経費支出	857,485,532	789,461,157	68,024,375
管理経費支出	189,369,375	178,314,532	11,054,843
施設関係支出	13,550,000	13,545,000	5,000
設備関係支出	88,553,000	33,523,311	55,029,689
資産運用支出	628,152,000	1,085,173,000	△ 457,021,000
その他の支出	156,625,118	145,375,511	11,249,607
〔予備費〕	(11,454,060) 8,545,940		8,545,940
資金支出調整勘定	△ 81,636,432	△ 42,162,939	△ 39,473,493
次年度繰越支払資金	1,942,538,147	2,102,740,328	△ 160,202,181
支出の部合計	4,849,242,833	5,335,614,763	△ 486,371,930

注) 予備費の使用額11,454,060円は、人件費支出1,710,153円、教育研究経費支出7,221,532円、管理経費支出1,969,375円、設備関係支出553,000円である。

消 費 収 支 計 算 書

平成22年 4月 1日から

平成23年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,750,000,000	1,750,180,740	△ 180,740
手 数 料	20,400,000	22,806,550	△ 2,406,550
寄 付 金	19,000,000	19,523,088	△ 523,088
補 助 金	322,000,000	339,307,298	△ 17,307,298
国庫補助金	322,000,000	338,078,898	△ 16,078,898
地方公共団体補助金	0	1,228,400	△ 1,228,400
資 産 運 用 収 入	63,000,000	79,013,124	△ 16,013,124
事 業 収 入	38,000,000	37,295,553	704,447
雑 収 入	84,100,000	86,539,993	△ 2,439,993
帰 属 収 入 合 計	2,296,500,000	2,334,666,346	△ 38,166,346
消 費 収 入 の 部 合 計	2,296,500,000	2,334,666,346	△ 38,166,346
消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,203,987,903	1,191,587,741	12,400,162
教 育 研 究 経 費	1,257,485,532	1,178,267,521	79,218,011
(うち、減価償却額)	(400,000,000)	(388,806,364)	(11,193,636)
管 理 経 費	199,369,375	188,212,608	11,156,767
(うち、減価償却額)	(10,000,000)	(9,898,076)	(101,924)
資 産 処 分 差 額	1,000	52,561,000	△ 52,560,000
徴 収 不 能 額	8,468,600	8,468,600	0
徴収不能引当金繰入額	10,000,000	2,960,000	7,040,000
[予 備 費]	(17,747,410) 2,252,590	/	2,252,590
消 費 支 出 の 部 合 計	2,681,565,000	2,622,057,470	59,507,530
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	385,065,000	287,391,124	/
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	597,610,499	597,610,499	/
基 本 金 取 崩 額	6,000,000	23,218,588	/
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	976,675,499	861,783,035	/

注) 予備費の使用額17,747,410円は、人件費87,903円、教育研究費7,221,532円、管理経費1,969,375千円、徴収不能額8,468,600円である。

資産処分差額の52,560,000円支出超過は、保有する金融資産の一部が時価評価50%を割ったため、評価減計上したものの。

貸 借 対 照 表

平成23年 3 月31日

<< 総括表 >>

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	11,274,311,876	11,291,578,120	△ 17,266,244
有 形 固 定 資 産	8,259,109,644	8,605,094,735	△ 345,985,091
土 地	1,269,130,501	1,269,130,501	0
建 物	5,842,364,810	6,114,848,197	△ 272,483,387
構 築 物	135,452,365	160,180,716	△ 24,728,351
教育研究用機器備品	285,039,479	329,303,409	△ 44,263,930
図 書	666,535,117	662,629,439	3,905,678
そ の 他	60,587,372	69,002,473	△ 8,415,101
その他の固定資産	3,015,202,232	2,686,483,385	328,718,847
長 期 貸 付 金	18,060,766	16,384,259	1,676,507
減価償却引当特定資産	2,100,000,000	2,100,000,000	0
退職給与引当特定資産	630,422,000	500,000,000	130,422,000
有 価 証 券	202,280,000	1,000,000	201,280,000
そ の 他	64,439,466	69,099,126	△ 4,659,660
流 動 資 産	2,394,195,115	2,527,244,726	△ 133,049,611
現 金 預 金	2,102,740,328	2,434,343,236	△ 331,602,908
未 収 入 金	77,699,958	77,450,621	249,337
短 期 貸 付 金	3,969,968	4,272,782	△ 302,814
有 価 証 券	201,020,000	0	201,020,000
そ の 他	8,764,861	11,178,087	△ 2,413,226
合 計	13,668,506,991	13,818,822,846	△ 150,315,855

負 債 の 部, 基 本 金 の 部, 消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	630,421,644	468,478,766	161,942,878
長 期 借 入 金	0	0	0
退 職 給 与 引 当 金	630,421,644	468,478,766	161,942,878
流 動 負 債	331,094,261	355,961,870	△ 24,867,609
前 受 金	202,195,210	217,917,710	△ 15,722,500
そ の 他	128,899,051	138,044,160	△ 9,145,109
負 債 の 部 合 計	961,515,905	824,440,636	137,075,269
第 1 号 基 本 金	13,403,774,121	13,426,992,709	△ 23,218,588
第 4 号 基 本 金	165,000,000	165,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	13,568,774,121	13,591,992,709	△ 23,218,588
翌年度繰越消費支出超過額	861,783,035	597,610,499	264,172,536
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 861,783,035	△ 597,610,499	△ 264,172,536
負 債 の 部, 基 本 金 の 部, 消 費 収 支 差 額 の 合 計	13,668,506,991	13,818,822,846	△ 150,315,855

【参考】

正 味 財 産	12,706,991,086	12,994,382,210	△ 287,391,124
---------	----------------	----------------	---------------

- (注) 1. 退職給与引当金について、従来、期末要支給額80%を基にして私立大学退職金財団に対する掛金の累計額累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減していた金額を計上していたが、当年度から期末要支給額100%計上基準に変更したため、従来の方法によった場合に比べ、167,437,972円多く計上されている。
2. 徴収不能引当金計上額 4,740,000円(未収入金等の徴収不能に備えるため)
3. 担保に供されている資産はない。
4. 退職給与引当金の算定方法は、期末要支給額837,189,860円の100%を基にして、私立大学退職金財団掛金・交付額との差額を加減した金額を計上している。
5. 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通り。
リース料総額104,543,460円 未経過リース料期末残高26,852,805円
6. 減価償却引当資産及び退職給与引当特定資産等のうち、有価証券保有金額は3,009,354,267円で、年度末の時価総額は2,701,274,196円であり、計上総額より時価額が308,080,071円下回っています。
7. 本学園が債務保証を行っているものは、教職員の銀行借入金5,922,626円です。
8. 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額である。

財 産 目 録

<<総括表>>

I. 資産総額	13,668,506,991 円
内、(一) 基本財産	8,317,507,168 円
(二) 運用財産	5,350,999,823 円
 II. 負債総額	 961,515,905 円
 III. 正味財産	 12,706,991,086 円

科 目	平成23年3月31日	
I. 資産額		
一 基本財産		
1 土地		
おばせキャンパス	142,374 m ²	784,080,501 円
小倉キャンパス	996 m ²	485,050,000 円
2 建 物		
校舎等(おばせキャンパス)	42,172 m ²	3,224,454,409 円
校舎等(小倉キャンパス)	12,503 m ²	2,617,910,401 円
3 構築物 (おばせキャンパス)		135,452,365 円
4 教育研究用機器備品		285,039,479 円
5 その他の機器備品		57,341,182 円
6 図 書	149,583 冊	666,535,117 円
7 その他		61,643,714 円
計		8,317,507,168 円
二 運用財産		
1 現金預金		2,102,740,328 円
2 減価償却引当特定資産		2,100,000,000 円
3 退職給与引当特定資産		630,422,000 円
4 有価証券		403,300,000 円
5 貸付金		22,030,734 円
6 未収入金		77,699,958 円
7 その他		14,806,803 円
計		5,350,999,823 円
資 産 総 額 合 計		13,668,506,991 円
II. 負債額		
一 固定負債		
1 退職給与引当金		630,421,644 円
二 流動負債		
1 前受金		202,195,210 円
2 その他		128,899,051 円
負 債 総 額 合 計		961,515,905 円